

# 街から待ちをなくす 混雑状況 可視化サービス

通信規格をBluetoothから次世代LPWA規格ZETA\*にすることで、従来よりも大幅に通信距離が長くなるため、商業ビルや大規模施設において1台のアクセスポイントでの対応が可能となります。今後、オフィスビルや商業施設、大学、空港などへ導入することを目指し、現在不動産事業者やデベロッパーなどに向け、販売を行っています。

詳しくは下のQRコードから



大型施設・広域向け(ZETA版)

powered by ZETA DRIVE

## 「nomachi®」ZETA版の特長

凸版印刷が製造するZETA通信モジュールを組み込んだ「nomachi®」の新モデルを開発することにより、1台のZETA基地局で広範囲をカバーすることが可能となりました。また、電池式のZETA中継器を活用することで、設置場所の自由度が向上し、障害物の迂回や距離の延長がさらに可能となります。

### ZETA通信規格採用で長距離通信が可能

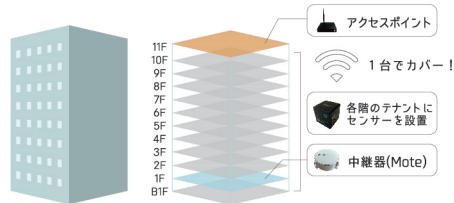
通信距離が延長したことで、商業ビルや大規模施設にも1台のアクセスポイントで使用可能です。従来より、数多くの店舗や施設で使用できます。

### ZETAセンサーのサービスも活用可能

ZETA用の基地局を設置することで、本サービス以外にも、温湿度やCO<sub>2</sub>濃度の測定などZETAセンサーが持つ従来機能の活用が可能。施設内の環境・設備をセンシングすることでスマート化を推進します。

## ZETA版の活用シーン

1台のアクセスポイントでビル全体をカバー



エリア規模の混雑状況をセンシング可能！



Web表示イメージ



## センサーの種類

### テーブルセンサー



- 席に取り付けるだけで在・不在をセンシング
- クラウドが混雑状況を自動判別(席単位の在・不在表示も可能)



### サイコロセンサー



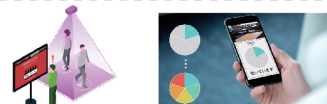
- 置く向きを変えるだけで表示内容を切り替えられる
- 表示する内容は自由にカスタマイズ可能



### 人数計測センサー ※LTE通信



- 人の出入りを検知して滞留人数を測定
- クラウドが混雑状況を自動判別



\* ZETAは、中継器を多段に経由するマルチホップ形式の通信を行うことで、他のLPWAと比べ、基地局の設置を少なくでき、低コストでの運用を可能にする次世代型LPWA通信規格です。

# TOPPAN NEWNORMAL

デジタルテクノロジーで共に創る  
ニューノーマル社会における  
新しいコミュニケーション  
詳しくは下のQRコードから!



凸版印刷オリジナルキャラクター  
小石川 彩